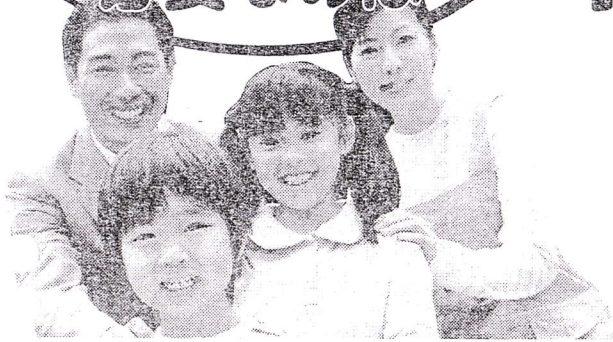


市民の望みは……市民の声遠ざける定数削減でなく

市民の声が生きる市議会です

いま
市議会改革に
必要なのは



与党会派が、議員定数を24から21に減らす条例を9月議会に提出しました。

あきる野市議会は「議会だより」で、議員定数について市民の声を公募しました。寄せられた声のすべてが「議員定数は変えるな」という意見でした。

与党議員は――

この声を知らない
とでもいうので
しょうか？



議員定数問題で「議会だより」に寄せられた意見。

定数削減を提案した議員は、何をしてきた人たち？

ムダな25億円の温泉建設をすすめ、
福祉・教育の願いに背を向けてきました

合併後の最大のムダづかいは、25億円も税金をつぎ込んだ温泉建設です。そのために、学校で使う消耗品などの予算がカットされ、学校の耐震化でも東京で一番遅れています。いま議員定数を「減らせ」といっている与党

の議員は、これまでも温泉建設などのムダづかに賛成し、市民から出された後期高齢者医療制度の撤回や、介護保険制度の改善、障害者支援を求める陳情など切実な声にことごとく反対してきた人たちです。

ムダづかいに切り込み、
市民要求実現に努力してきた――

日本共産党市議団

日本共産党あきる野市議団は、一昨年、あきる野市内の18校すべての小・中学校を訪問。昨年は、12ある学童保育所を視察し、今年秋川市時代からの土地開発公社の売れ残っている20カ所の土地すべてを調べ、そして、この3年間にこうした調査でつかんだ事実を示し、一歩でも二歩でも改善をすすめてきました。2回の「市民アンケート」を実施し、市民のみなさんと力を合わせて学童保育時間の延長や施設改善、妊婦検診を5回に増やし、プールなど体育施設利用時間を一時間単位にさせました。また、これまでにのバスの五日市地域への路線を新設させてきました。

いま市議会の改革に必要なのは、議員を減らすことではなく、市民の声が届く市議会にすることです。

▼議員が少なくなれば議会のチェック機能が低くなり、行政のムダや浪費などが見過ごされる恐れが出てきます。わずかな経費を惜しんで大きなムダを見逃さないために、議会のチェック機能をしっかり確保してください。
(瀬戸岡在住男性)

▼市民から役に立たない議員は減らした方がよい」という声を聞きますが、むしろ議員がいてくれて良かった、言われるような議会をつくってもらいたいのです。議員を減らすより、もっと市民の声が反映される議会改革にとりぐんでもらいたいと思っています。
(雨間在住・女性)

▼経費削減は大事ですが、市民の福祉の向上が自治体行政の任務なので、そのために必要な人員や経費は確保すべきです。市民の要求をキャッチし、議会に反映するために24名の議員は必要です。
(山田在住男性)

与党派が 議員定数を24→21に減らす条例提案

これで市民の声が生きる市議会に出来ますか？

地方自治体の仕事は、こうした市民の暮らしを守り、福祉の向上をはかることです。議員は市民の声を取り上げ、市民の暮らしをまもるために、いまこそ、議員本来の仕事に全力でとりくまなければなりません。

いま市民の暮らしは、国民健康保険税や介護保険料の引き上げ、高い住民税、今年4月からは後期高齢者医療制度が導入され、高齢者はさらなる負担増で生活は深刻です。さらに原油高、物価高騰と暮らしはますます大変です。

もっと、市民の声を議会に届けなければならぬ時に議員定数を減らすなんてとんでもありません！

あきる野市では、「行政改革」といいながら、公共料金の値上げや、温水プールの縮小など、福祉施策のカットをしようとしています。議会は、住民から選ばれた代表によるチェック機能です。議員定数削減は市民の声を市政に届けにくくし、市政のチェック機能を弱めることになり、住民の政治参加をせまめるものです。

税金のムダづかいをなくすためには、むしろ市議会を活性化させることが必要です。

議員定数を減らしてもムダをなくすことにはつながりません。



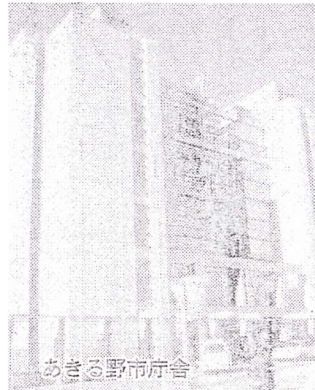
- 定数削減を提案した議員と、提案に賛同している各会派の代表議員
- 提出者
 - 市議員(会派) 清風会
 - 賛成者
 - 村本英幸(新風会)
 - 御手洗武(政和会)
 - 松原敏雄(公明党)
 - 清水 晃
- (民主 無所属)

働かない議員がいるから減らしても良いのではという声も聞きますか？

定数を減らしても問題の解決にはなりません

働かない議員がいたり、議員になっても働かないと思われる候補者がいたとしても、市民が選挙で審判を下せば済むことです。むしろ議員定数を減らした結果、市民の立場で働いていた議員や、新人候補者が落選してしまったという例が全国で多数起っています。

定数を減らしたから、議員の資質が高まるという保障は何もありません。多様な市民の声を反映させるための保障である議員の定数を減らすことは、結局、市民の権利をせまめることです。



自ら身を削ると定数削減を言っている議員もいますか？

定数削減は、市民から市政を遠ざけ悪政を隠すのがねらい

そもそも議員定数は、行政の独走や住民無視を許さないために、議席数を憲法や地方自治法で定められています。あきる野市政は、地方自治法では30人です。現在はそれより少ない24人なのにさらに減らせようというのです。

定数削減を主張する議員は、「身を削るため」と言っていますが、結局は、市民が政治に参加する権利を削るもので、市政から市民を遠ざけて悪政を隠すことが本当のねらいではないでしょうか。

音が聞こえてきませんか？

与党派の中から議員を減らして報酬を上げるなどの声が聞こえてくる始末です。本音は自分たちの報酬上げ？